

Volunteer NPO Center News Letter

ボランティア・NPO活動センター通信

No.41 発行日：2022年4月

龍谷大学教職員の皆さん向けに、ボランティア・NPO活動センターの活動を紹介する情報紙です。教職員の皆さんにボランティア・NPO活動センターの活動を知っていただきたい！ ボランティア活動に参加していただきたい！ そんな思いを込めて作成しています。

「平和をつくるために ～ボランティア活動の意味～」



私たちはこの2年間、新型コロナウイルスのパンデミック(世界的な大流行)の中で暮してきました。身体的健康はもちろん、勉学、仕事、人間関係などに計り知れない影響を受けています。このような事態を数年前に誰が予想できたでしょう。

さらに、2月24日に始まったロシア軍によるウクライナ侵攻によって、多くの命が奪われ、苦難を強いられる人々が増え続けていることに深い怒りと悲しみを覚えます。

「平和」を守り、つくるために、自分に何ができるのか、何をすべきなのかを改めて突きつけられているように思います。

—「平和を守れ」という代わりに、「この日常を守れ」という—

こう述べたのは、小説家、劇作家の井上ひさしさんです(『ボローニャ紀行』2008年)。「日常」という言葉を使ってみることで、「平和」という言葉の意味がよりはっきりするということです。

自分たち(自分と他者)の日常を大切にすること、より良くしようと動くこと、時には心地よさを奪われないように闘うこと、そうした日々の営みの先に「平和」があるのだと思います。

これは、まさにボランティア活動の本質といえるでしょう。

ボランティア活動の分野や種類、方法は様々です。家で行う活動もあれば、海外に出向くような活動もあります。楽しく遊んだり交流する活動もあれば、人権侵害と闘うような活動、制度の改善を求めるような活動もあります。活動テーマや形態は違っても、いずれもその根底に自分と他者の日常を大切にし、より良くしたいという思いがあります。

こうした営みの積み重ねは、社会のレジリエンス(回復力、自発的治癒力)を高めることにもつながります。自然災害や新型コロナウイルスパンデミックのような、予測不能な出来事は残念ながら今後も起きるでしょう。その時に、重要になってくるのがレジリエンスの高さです。

ボランティア活動は、小さな一歩からでかまいません。今、関心のあることや自分が好きなことから始めていいのです。私たちの日常を守り、より良くするための活動が多彩に展開されることが豊かな社会づくり、ひいては平和の実現につながることを改めて心に刻みたいと思います。

ボランティア・NPO 活動センター長

筒井 のり子

2021年度の主な事業報告（2021年4月～2022年3月）

ボランティア・NPO 活動センターでは、コロナ禍でしたが活動を止めず、出来る限りの感染防止対策を講じながら、様々な工夫をして、龍谷大学の学生・教職員の皆さんに向けて、ボランティアの一步を踏み出すための様々なプログラムや、学生スタッフによるボランティア企画などを提供してきました。2022年3月までに、実施したいくつかの活動を紹介します。詳しくはホームページ(<https://www.ryukoku.ac.jp/npo/>)をご覧ください。

ボランティア入門講座（2021年7月～11月）

第1回：講義(5月)：LIVE(5/27 実施)とオンデマンドが選べる形式で実施しました。130名の申込があり、ライブでは、43名が参加しました。申込者の内、87名がボランティア体験を希望しました。

学生からは「ボランティアについて知ることができたと、すごく楽しそうだと感じた。オンライン上でも工夫すれば楽しんでもらえるとわかって、活動範囲が無敵大だと思った」などの感想が寄せられました。

第2回：①ボランティア体験(前半・8月～9月) 27名参加 ②(後半・10月～11月) 37名参加：64名

感染防止対策を講じながらのボランティア体験でした。緊急事態宣言の発出等により、体験が中止・延期になる活動が出るなど予定した通りに進まず、ボランティア体験を断念する学生も出てしまいましたが、オンラインボランティアプログラムを開発したり、出来る限り活動が出来るように工夫して講座を実施しました。学生からは「ボランティアが初めてで緊張したけれど、楽しく活動できた。また参加したい」などの感想が寄せられていました。



ボランティアリーダー養成講座(2021年8月、2022年2月)

コロナ禍で思うようにチーム作りが出来ない悩みを抱える学生達に向けて、「あそび」をテーマに「チーム力」を上げるための秘訣を考えるリーダー養成講座を開催しました。8月の講座が好評だったので、2月も同じ講師・テーマで内容をさらに深めて開催しました。

第1回(8月)@深くキャンパス：学生 55名が参加

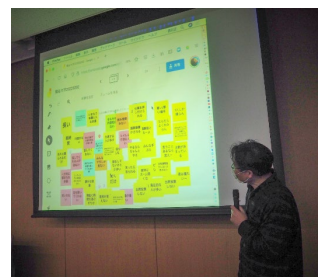
テーマ：「チーム力を上げよう」

第2回(2月)@瀬田キャンパス：学生 33名が参加

テーマ：「チーム力を上げようⅡ」

★第1.2回共通 講師

西川 正氏(ハンズオン埼玉 常務理事)



ボランティアコーディネーション力検定

本学では、ボランティアコーディネーションへの理解を深め、実践的な取り組みの担い手として活動する力をつけることを目的として、日本ボランティアコーディネーター協会との共催で『ボランティアコーディネーション力3級検定』を毎年実施しています。12月18日(土)に深草キャンパスで実施し、30名が受験しました。

百縁夕食へのブース出展

12月～1月に学内で開催された瀬田・深草の百縁夕食の会場横で、センターの活動を紹介するブース出店や出張ボラセンを行いました。



海外体験学習プログラム・スタディツアーをオンラインにて開催しました。

2021 年度はコロナ禍の影響で渡航することが難しいため、今年度もオンラインスタディツアーを開催致しました。今回は、オンラインでの中継、別日に NGO の方と振り返りやワークショップを開催するなど、国内外で現地を支援している団体にご協力いただきながら開催しました。

①9月6日(月)、9日(木) カンボジア

協力団体: 認定NPO法人テラ・ルネッサンス

テーマ: 地雷問題をテーマにカンボジアとつなぎ
平和について考える。

内容: すべてオンライン実施
両日ともにテラ・ルネッサンスの
栗田氏が講師で実施しました。



【9/6】実際にカンボジアと中継で
つなぎ、地雷被害者やその家族
からお話を聞きました。

【9/9】世界の課題解決のために自分たちに何ができる
のかを考えるワークショップを行いました。



②1月13日(木)、2月5日(土)アフガニスタン

協力団体: 一般社団法人平和村ユナイテッド

EJAAD JAPAN

テーマ: みんなで考えよう アフガニスタンの事

内容: 1/13 オンライン、2/5 対面で実施

【1/13】平和村ユナイテッドの小野山代表から、アフガニスタンの現状や、NGO として、平和構築のためにどのように関わっているのか等についてお話を伺いました。

【2/5】EJAAD JAPAN の方々にお越しいただき、対面でアフガニスタン女性支援活動の 1 つである刺繍作品の販売の話をお話を聞きました。その商品がもっと日本で認知・販売するためにはどうすればよいかを考えました。また、短時間ではありましたがアフガニスタン現地ともオンラインで繋ぎ、今の想いをお聞きました。



国内体験学習プログラムを近江八幡で開催

日帰りのフィールドワーク2日間とオンラインでの事後学習会の3日間の日程で実施しました。

伝統文化である左義長まつりを継承していきたいという熱い思いを強く感じるプログラムとなりました。

テーマ: 近江八幡の左義長祭

～コロナ禍において伝統文化の継承について考える～

2月27日(日)

観光ボランティアガイドの案内によるまち歩きと、左義長保存会のみなさんに左義長祭に関するヒアリング

2月28日(月)

左義長ミニ製作体験と左義長製作現場の見学/ふりかえり

3月17日(木) 事後学習会(オンライン)



福島スタディツアー・オンラインプログラム

福島の今を知り、学ぶために 2015 年度から実際に福島に赴いて、多様な立場の方々からお話を聴く、福島スタディツアーを実施してきました。本年も2月に福島県に赴く予定でしたが、今年度の福島スタディツアーは来年度に延期(延期日程は未定)になってしまいました。

しかし、福島スタディツアー事前学習会を兼ねた福島スタディツアー・オンラインプログラムは予定通り実施しました。

実施日: 2022 年 2 月 7 日(月)

内 容: ①「東日本大震災～福島状況について～」

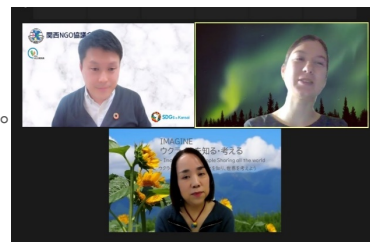
筒井のり子 社会学部教授/ボランティア・NPO
活動センターセンター長

②「(株)小高ワーカーズベースの挑戦」

(株)小高ワーカーズベース 和田 智行代表



2022年3月31日(木)に、オンラインでウクライナに関する勉強会を開催しました。第一部では、日本在住ウクライナ人のアナスタシア・コウバさんから、祖国の文化や、侵攻前のウクライナの社会情勢、現在の状況に対する気持ちを話していただきました。第二部は関西 NGO 協議会の栗田佳典さんから、今回の侵攻で日本政府や NGO、大学などの動き、世界中にはウクライナの他にも紛争が起きている地域があること、難民や避難民がいることにも関心を向けて欲しいという話をしていただきました。急な開催になりましたが、学生を始め、教職員 60 名の申込があり、現在、申込者限定のオンデマンド配信を行っています。



2022 年度の事業予定

ボランティア入門講座【参加者募集中】

講義とボランティア体験を組み合わせた『ボランティア入門講座』を今年も下記内容にて実施予定です。

- オンライン講座 5月上旬配信開始(予定)
- ボランティア体験
6月～夏休み中で調整中
- ふりかえり 体験後個別で行います

※調整中の日程は決定次第、HPに掲載します。
※本年も感染症対策を行いながら、屋外での体験や人数を絞った形での運営を行います。



ボランティア入門講座
動画で学ぶ！ボランティアのキホン

新入生新歓活動【絶賛実施中】

龍大生にボランティアを広めるための活動をしている学生スタッフを毎年新歓期間中に募集しています。例年新入生を対象に行っていましたが、今年は2年生や3年生も多く関心をもっているようです。深草・瀬田それぞれのキャンパスで新歓期間中のブース出展やチラシ配り、またガイダンス等を実施しております。学生スタッフ自らが考え、1人でも多くの学生に興味をもってもらえるよう日々試行錯誤中です！



【ボランティア・NPO 活動センター開室時間】

平日 9:00～17:00(火曜は 10:45～17:00)

Ryukoku University



Facebook



Twitter



ホームページ



Volunteer NPO Center News Letter

No.41

発行責任者: 龍谷大学ボランティア・NPO活動センター センター長 筒井のリ子
ホームページ: <https://www.ryukoku.ac.jp/npo/>、E-mail: ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp
SNS: Facebook: 龍谷大学ボランティア・npo 活動センター、Twitter: @ryuvnc

深草キャンパス: 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67 成就館 1F
内線 1490、Tel:075-645-2047、Fax:075-645-2064

瀬田キャンパス: 〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷 1-5 青志館(生協食堂)横
内線 7252、Tel:077-544-7252、Fax:077-544-7261